

穏やかな秋晴れの中、「こどものもり」は秋の実りに包まれています。

「こどものもり」の本領が発揮される季節を味わっています！

○秋の実りの第一番はオレンジ色の「柿」は、毎日長ハサミで採りに出かけていますし、渋がキは剥いて干し柿にしていきます。栗の木山でイガイガに包まれた「栗はトゲにささらないように、金バサミで挟んでは籠に入れてあります。お寺の客殿の棚には、口をぱっくりと開けた紫色の「あけび」がぶら下がっています。畑には小粒ながら真っ赤で夢のあるかわいい色の「乙女リンゴ」は、テーブルに並べて、数を数えるコーナーになっています。畑の道路には、臭い匂いだが焼くと香ばしい「イチヨウの実」は、ビニールの手袋をして皮をむき、実を集めて新乾かしています。ムーミンハウスのドングリの木々は、毎日のように落ちるのを拾っては、卵パックやビンに入れてお部屋に飾ったり、数を数える教材となっています。またムーミンハウスの出入口にある「ザクロ」も、かわいい小さな甘酸っぱい赤い実を、昼食時のデザートとして食べたりしています。クッキングコーナーで夏の日陰を作ってくれた「くるみ」もたくさん落ちていて、皮をはがして乾かしながら冬にするクッキーの材料に準備しています。また砂場に日陰と秋の味を楽しませてくれた「ぶどう」も名残りの味を残しています。



○子ども達は今、たくさんの木の実との出会いを通して「種類の違いや味・匂い・形・感触・色」等の違いを発見したり、更には図鑑や虫眼鏡等を使ってそれぞれの姿の特徴などを覗きながら、ワクワクしたりドキドキする体験を通して、幼い心に自然界の不思議さや驚きを発見しています。自然への興味や偉大さへと繋がるとても重要な学びを体験しているのです。



学校での机に座って、教科書を広げて事務的に教えてもらうのではなく、本物を実際に自分たちで採ったり、触り・味わう等5感を活かす実体験は、大人になった時必ず他への心配りや、命の尊さや感謝の気持ちが育ち、温かな心を身に付けていく基礎となっていきます。



○室内の製作コーナーでは、10月30日(金)に開催される「ハロウィンパーティー」に向けて、色とりどりのビニール袋やカラーテープ等の教材を工夫しながら、アニメや絵本から自分のイメージにあった衣装づくりに奮闘していますし、園庭では、「ふれあいひろば」の余韻を楽しむかけっこや玉入れ、更にはつなひきと、元気よく、楽しんで動いています。

●このゆったりと落ち着いた秋の空気の中で、どの子も、自分探しや温かな心づくりに向かってステキな体験を活かして心と身体を充電しています。このような「こどものもり」の質の高い・教育の実践が、多くの専門家や行政からの高い評価として先進的なモデル園となっています。ご家庭でも、澄んだ秋の季節ならではの、風情や味や色・形の違い、更には豊かな心づくりに向かえるよう、たくさん体験出来るような、配慮をよろしく願いいたします。

「三戸里園」へ年長児さんご苦労様でした。

昨日ハロウインの衣装を持って「三戸里園」へ訪問に行ってきました。楽しみにしてお迎えくださる姿に、子どもたちもたくさんの学びをいただいています。毎月の出会いかからやさしい気持やお世話の大切なことを子ども達は学んでいます。長生きしてください！

「町民まつり」ご参加お疲れさまでした！

役員さんはじめ卒園 OBの方々などたくさんのお客様との出会いに感謝です。これからも引き続きご協力の程お願い申し上げます。引き続きバザーへのご協力をお願いいたします。